

女性現実研究所 資料『女性現実物語』

性産業・性団体・性風俗業・性ボランティア調査研究報告コホート

海外ソロリティ (Sorority、  
女子学生社交クラブ、女性友好クラブ) との交流

まるで物語のような女性の現実に寄せて

初版：2004年5月2日

最終更新：2019年9月9日

～ 著者 ～

◆女性現実研究所 代表スタッフ (代表ウォッチャー、男女)

～ 編者 (女性からのご相談、ご投稿、情報提供の受付および本著の編集) ～

◆女性現実研究所 幹部女性スタッフ (幹部女性ウォッチャー) 一同

～ ご協力者 (代表および幹部女性スタッフ一同より厚く御礼申し上げます) ～

◆女性現実研究所 一般女性スタッフ (一般女性ウォッチャー) の皆様

(社会人女性スタッフ、主婦スタッフ、女子大学生スタッフ、女子高校生スタッフ)

◆女性現実研究所にご相談、ご投稿、情報提供して下さった全ての女性の皆様

(本著では、女性ご本人から公表のご希望やご許可を頂いた事例のみを取り上げておりますが、全ての女性にメール返信や面談などの個別対応を行っております。)

女性現実研究所 (Women's Real-Life Research Laboratory、WRLRL、ウィルール)

目次

1. 海外ソロリティ (Sorority、女子学生社交クラブ、女性友好クラブ) との交流

## 1. 海外ソロリティ (Sorority、女子学生社交クラブ、女性友好クラブ) との交流

女性研の連携女子寮の女性どうしの結びつきや助け合い、生活の相互扶助のあり方は、精神・身体症状を抱える女性どうしとしての対話サークルを越えて、友好的なハウスシェアリング・寮生活としての強い相互理解だと言えます。

そのため、アメリカやカナダでは一般的な「ソロリティ (Sorority・女子学生社交クラブ・女性友好クラブ)」に近いと言え、実際に以下のソロリティのメンバーの皆様と交流しています。

欧米の多くのソロリティは、一般の大学などのサークル以上に独立性・秘密性が強く、President (頭領) と呼ばれる女性家長をトップとして、Big Sister (お姉さん)、Little sister (妹) の序列があり、代々の Family Tree (家系図) も作成しています。国・州・大学などの公認試験に合格しなければソロリティメンバーになれないケースもあるほどです。

ただし、精神・身体症状を抱える別々のソロリティに所属する女子メンバーたちが、また別に独立したりリハビリサークルなどを立ち上げることは許されており、実際にそのようなサークルが活動しています。とりわけ、性被害・性依存 (性的倒錯)・性症状を抱える女性たちによるヌードリハビリ (レクリエーション) サークルの活動と、その医学的・教育的な成果は、日本では決して見られない光景です。

一般にこうしたソロリティ (やりリハビリ・レクリエーションサークル) では、性愛の悩みに限らず、メンバーたちが共同生活をするにあたり、実家の両親や親族に向けて「私は、両親や親族よりも、ソロリティでの女子どうしの友愛を選ぶ」という宣言をするのは普通に見られることです。性被害・性依存 (性的倒錯)・性症状の原因が両親・親族による暴力などにある場合なら、なおさらのことと言えます。私たちの寮自体も、ほぼ「一見さんお断り」で、上下関係もそれなりにありますので、やや閉鎖的な秘密女子クラブとは言えません。

当寮からも、希望者が一年に数回、一定期間は海外に渡り、ソロリティやリハビリサークルのメンバーの皆様と一緒に、おもに性被害・性依存 (性的倒錯)・性症状のリハビリ活動をしています。(リハビリページに載せています。)

当寮について、「海外のミッション系の女性性愛・レズビアンサークルに似ているから、PSAS や陰核過敏症を誤解されないためにも、あえて同性愛的なソロリティを名乗るのもありではないか」とのアドバイスを下さる方がいらっしゃいます。そこまで名乗るのはまだ早いかなとは思いますが、私たちのライフスタイルもまだまだ確定的なものではなく、実験的なところがあるのは確かで、とにかく、女性どうしの性愛面も積極的に視野に入れている「ソロリティ」というイメージが一番近いと言えるでしょう。



《交流ソロリティとの記念写真》

●交流ソロリティ (一部です。)

[Delta Phi Kappa Sorority](#)

[Sigma Phi Omega Sorority](#)

[alpha Kappa Delta Phi Sorority](#)

[Sigma Psi Zeta Sorority](#)

[Delta Phi Lambda Sorority](#)